



2020-2021 RI テーマ **ロータリーは機会の扉を開く**

天童東ロータリークラブ

クラブテーマ「**今だからこそ出会いを大切に 奉仕を楽しみ活動的に そして団結**」

会長／齋藤 幸雄さん ・ 幹事／佐藤 栄治さん

通常例会 1673 回・本年度第 12 回 例会日 2020 年 10 月 21 日会場／天童ホテル

司会／金 星さん ソング／我らの生業 タクト／鞍掛彰秀さん

会長挨拶 齋藤幸雄 会長

皆さん、こんにちは。一週間ぶりです。お変わりございませんか。今朝は寒かったと思ったら大井沢で気温が氷点下まで下がったそうです。

10月15日、天童3クラブの会長幹事会を天童ホテルで行い、これからの3クラブ共同行事について話し合いをいたしました。10月の合同芋煮会はコロナ禍のため中止といたしました。令和3年の新年会、天童3クラブ親睦ゴルフ大会と第3グループ親睦ゴルフ大会は行うことにいたしました。新年会と天童3クラブ親睦ゴルフ大会は当クラブが担当ですのでご協力よろしく願いいたします。

今日のお客様をご紹介します。天童市立第四中学校 笹原美百紀校長先生と山形県・山形市PTA連合会会長佐藤博之さん、そしてシバサキ商事柴崎稔代表です。後程笹原校長先生には演題『笑顔にあふれ「生きる力」を存分に身につけた生徒を育てる』で卓話をお願いしております。よろしく願いいたします。



昨日、スポーツ庁のホームページを見ておりましたら、飛んだり、走ったり、投げたり、柔軟性や握力などの体力運動能力調査の概要が出ておりました。一般的傾向として、ほとんどの項目で男子が女子を上回ったまま成長し、女子が中学生年代でピークレベルに達するのに対して、男子は高校生年代から成人にかけてピークレベルに達するそうです。ただし、握力だけは男女とも青少年期以後もゆるやかに向上を続け、30代でピークレベルに達するそうです。また、運動スポーツ実施率の「していない」割合は東京オリンピック以降の昭和43年度と比較して男女ともに全ての年代で減少しています。特に小中学生の女子での「していない」の割合が大きく減少しています。この調査結果により小中高のスポーツ実施率は、現在と昭和43年度当時と比較すると向上していると推測されます。現在は、競技性の高いスポーツだけでなく、誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境が増えていると考えられます。

私も最近、体力の衰えを感じるようになりました。体の健康を保ち、いつまでもパワフルに動くには、正しい運動と食事、そして、休息のバランスがとれた生活が必要だそうです。体が衰えたと思うと今度はできるだけ疲れない方法で行動をしようと考えがちで、階段などはあまり使わなくなります。最近生活が便利になり、日常の活動量が減ってきています。それが体力や筋力が衰えてくる原因だそうです。体力維持には、いかに疲れることをするかが大切で生活の中で楽をすることをやめて積極的に体を使うことだそうです。そして、運動をして筋肉に普段の生活以上の刺激を与えることが効果的だそうです。皆さんもいつまでも若く元気でいていただきたいと思います。

幹事報告 佐藤栄治さん

国際ロータリー2800 地区事務所より、米山交流会（芋煮会）を予定しておりましたが、山形県内の大学生が新型コロナウイルスに感染したこともあり、中止する事になりました。

委員会報告

米山委員会 米野幸治さん

皆様のご協力により寄付が目標額に近づいてまいりました。本当にありがとうございました。まだご寄付をされていらっしゃらない方はぜひご協力のほどよろしくお願いいたします。尚、今年から米山奨学会とロータリー財団は別になりました。両方に寄付された方、またはどちらかに2口以上申し込まれた方には記念品を用意しております。ぜひ多くのご寄付よろしくお願いいたします。

建勲神社より 鎌倉景昭さん

10月18日、建勲神社創建150年祭記念大祭を御蔭さまで無事に開催することができました。この事業にご奉賛くださいました会員の皆様には厚く御礼を申し上げます。今後とも建勲神社のご崇敬とご支援を賜りますよう伏してお願い申し上げます。尚、御札は11月頃にお渡しする予定です。

ロータリーの歴史について 高橋繁夫さん

ポールハリスがシカゴで、弁護士事務所を開いたのは28歳、ロータリーを始める9年前の1896年です。その時シカゴは、南北戦争での急激な発展により人口増による住民意識の欠落が目立ちました。そうした中、ポールは都市生活で疲弊する職業人の疎外感を救済する制度を考える必要があることに気づきますが、実際にどうしたらよいかわからないまま2年が経ちました。1900年ある夏の日、同僚の弁護士の別荘を訪れた際、夕食後散歩を共にしたところ、その同僚が近くに住む様々な職業の友人たちと親戚のごとく相互に付き合っている様子を見て、このような仲間同志を募ればクラブを作れるのではないかと考えました。彼は当初シカゴの全職業に就く全員を集めたいと思いましたが、あまりにも風呂敷を広げすぎるため、1業種1会員制であれば自由競争のあおりもなく、親戚同様のようないきいきできるクラブを作れるのではないかと気づきました。1業種1会員制という原則はここから生まれました。

3分間スピーチ 担当：高橋繁夫さん



私は、村山市の最上川のほとり、大淀で昭和16年に生まれました。当時は村に30名ほど男の子がおり、夏は川で泳ぎ、冬はスキー、魚釣りやチャンバラなどをして過ごしました。遊び道具も自分で手作りし、紙鉄砲を改造し鉛の球を詰めて雀を狙ってみたり、魚が入っていた木箱に、車輪とハンドルとブレーキをつけ、坂道を滑り降りたりと、大好きな自然に囲まれながら全力で楽しく過ごしました。ただ、今はトンボも少なくなり、昨今はコロナや疫病が世界で蔓延し、人類の最盛期はもう過ぎてしまったような感覚になって

おります。人類時計で言うならば、黎明期を夜明けの時刻とすると、現在は午後2時か3時ごろでしょうか。植物や昆虫、動物、食べ物や水の絶滅危惧が謳われておりますが、我々人間こそが絶滅危惧種ではないかと感じています。

スマイル報告 三瓶 誠さん

- 笹原校長先生、佐藤PTA会長、柴崎社長を歓迎いたします。天童東クラブへようこそ！
→斎藤幸雄会長、山口孝さん、赤塚弘実さん、今田治雄さん、鞍掛彰秀さん、三瓶誠さん
- 10月17日、18日の建勲神社創建150周年記念大祭、無事に終えることが出来ました。
ありがとうございました。 →鎌倉景昭さん（10口）
- 祝建勲神社創建150周年記念式典、誠におめでとうございます。
中南米「イジャイ」親子ライブとてもよかったです！→村山光男さん
- 祝 結婚記念日→藤島正史さん ● 祝 お誕生日→関大輔さん 「お花有難うございました」

【本日の卓話】 天童市立第四中学校 校長 笠原美百紀さん

演題 『笑顔にあふれ 「生きる力」を存分に身につけた生徒を育てる』



この演題は、現在の天童市立第四中学校の学校教育目標です。学校教育目標とは校長が決定するものであり、自身が当校に赴任してきた際にスローガンとして掲げたものです。

『笑顔にあふれ～』という言葉には、子供たちに笑顔で学校に来てもらいたい、そして保護者の方にも喜んで学校にゆく我が子の姿を見て笑顔になってもらいたい、そして働く先生方や学校を取り巻く地域の人々にも笑顔になってもらいたいという思いを込めました。次に、「生きる力」とは、33年前に初めて赴任した学校の校長から、「学校は、子供たちに生きる力をつけるところなのだ」と教えてもらった時の言葉です。生きる力とは正に、心・技・体。子供たちの豊かな心、逞しく健やかな体、確かな学力を育むことこそが、子供の「生きる力」を身につけさせることであり、それを片時も忘れることなく教育に従事してきました。また自分が高校の時に養護学校で教師をする先生の、「教育は愛である」という言葉に感銘を受け、これまでの子供たちと向き合う上で常に念頭に置いてきました。

自身が大学生の頃、中3男子生徒の自死の事件があり、彼が遺した「自分は誰も認めてくれない透明人間だった」という言葉に大変衝撃を受けました。その時、自分が先生になったら絶対に生徒を透明人間にさせまいと固く心に決め、そのような背景があって、生徒の名前と顔は必ず覚え、生徒たちとたくさん会話を交わし積極的に接することに努めてきました。ですので、天童での教員生活は25年になりますが、初めて担任をした2年5組の生徒の名前を今でも全て言うことができます。それは当時毎晩寝る前に全員の名前を復唱し、今日は誰と話し誰と話せなかったかを必ず確認していたからです。その姿勢は天童四中に就任した現在も変わらず、毎日朝早く校門に立ち、全校生徒の顔と名前を覚え、声がけすることを欠かしていません。全員の名前と顔を覚えることは並大抵のことではありませんが、名前を呼んでもらい、声をかけてもらう生徒達の嬉しそうな表情からは、確実に先生はいつもあなたのことを見ているというメッセージになり、その思いが生徒ひとりひとりに確実に伝わっていると実感しています。それは生徒会執行部の今年のスローガン「愛」という言葉にも反映され、子供たち自身が、自らよりよく生きるとは何かを考えられる生徒に成長していることを、とても嬉しく感じております。私の教員生活は33年に渡りますが、これまで多くの純粋で素直な子供達と出会い、協力してくださる素晴らしい保護者に囲まれ、地域の人に温かく支えていただき、そして一生懸命私の思いを汲んで生徒と向き合ってくださいる教員の方々と共に仕事できることが、本当に私の心からの幸せです。皆様、どうぞいつでも四中においでください。心から歓迎いたします。

自身が大学生の頃、中3男子生徒の自死の事件があり、彼が遺した「自分は誰も認めてくれない透明人間だった」という言葉に大変衝撃を受けました。その時、自分が先生になったら絶対に生徒を透明人間にさせまいと固く心に決め、そのような背景があって、生徒の名前と顔は必ず覚え、生徒たちとたくさん会話を交わし積極的に接することに努めてきました。ですので、天童での教員生活は25年になりますが、初めて担任をした2年5組の生徒の名前を今でも全て言うことができます。それは当時毎晩寝る前に全員の名前を復唱し、今日は誰と話し誰と話せなかったかを必ず確認していたからです。その姿勢は天童四中に就任した現在も変わらず、毎日朝早く校門に立ち、全校生徒の顔と名前を覚え、声がけすることを欠かしていません。全員の名前と顔を覚えることは並大抵のことではありませんが、名前を呼んでもらい、声をかけてもらう生徒達の嬉しそうな表情からは、確実に先生はいつもあなたのことを見ているというメッセージになり、その思いが生徒ひとりひとりに確実に伝わっていると実感しています。それは生徒会執行部の今年のスローガン「愛」という言葉にも反映され、子供たち自身が、自らよりよく生きるとは何かを考えられる生徒に成長していることを、とても嬉しく感じております。私の教員生活は33年に渡りますが、これまで多くの純粋で素直な子供達と出会い、協力してくださる素晴らしい保護者に囲まれ、地域の人に温かく支えていただき、そして一生懸命私の思いを汲んで生徒と向き合ってくださいる教員の方々と共に仕事できることが、本当に私の心からの幸せです。皆様、どうぞいつでも四中においでください。心から歓迎いたします。

山形県・山形市 PTA 連合会 佐藤博之会長(北日本白衣山形株式会社代表取締役)

今日は歴代会長の赤塚先輩よりお声がけいただき、ご縁を頂いて本会に喜んでまいりました。学校の先生におかれましては、このコロナ禍の中、いろんな対応をしていただきながら、子供たちの学びの場を確保していただいていることに心から感謝しております。

天童市立第四中学校 令和元年度 PTA 会長 柴崎稔氏(有限会社シバサキ商事代表取締役)

父が他界して5年、天童東 RC 在籍中は大変お世話になりました。今春3月まで娘が天四中でお世話になっておりました。校長と PTA 活動をしておりましたが、校長の逸話は数知れず！常に子供の気持ちに寄り添ってくださる唯一無二の先生です。

出席報告

本日会員：52名 出席者40名（出席率：88.88%、前々回出席率：88.88%）